

Japón Argentina

会報

No. 27

20 de Enero, 2000

今日の話題

新年ご挨拶：

斎藤会長、河野外務大臣、 キヤラディア大使	1
新政権誕生後のアルゼンチン 政局展望	2
ブエノスアイレス日亜学院に 「秋篠宮文庫」誕生	4
新内閣の顔触れ—キィポスト は殆ど急進党に	6
速報 政治・経済動向	7
インタビュー<この人> (2) ドミニゴ・カバロ下院議員 (元経済大臣)	9
<シリーズ> アルゼンチン・ワインの通 (つう) になろう②	10
「アルゼンチンと私」(2) 福島 穆	11
99年「バンドネオン金賞」国会 上院文化委より、他	15
成田／ブエノス往復 15万円 (税別) に	15

斎藤英四郎会長

70周年と新ミレニアムを
迎えて

明けましておめでとうございま
す。

会員の皆様には新しいミレニアム
をお健やかに、お迎えのことと存じます。

今年、当協会は創立 70周年を迎えます。

1930年（昭和5年）高松宮殿下を初代会長としてご就任賜り、副会長には山崎次郎元駐アルゼンチン公使および岡田永太郎大阪商船社長で発足しました。大戦中に一時中断したもののが1950年（昭和25年）わが国の国交再開に先立って、当協会が再発足し、今日に及んでいます。ここにあらためて、会員の皆様のご支援、ご協力に心から御礼申し上げる次第です。

さて、昨年は日ア修交100周年記念事業のフィナーレとして、ブエノスアイレス日亜学院に「秋篠宮文庫」が当協会の主導により創設されました。秋篠宮文仁殿下同紀子妃殿下の特別のご配慮に加え、アルゼンチン政府文化庁グティエレス・ワルケル長官により、この文庫を国家公益文化施設に指定する政令が宣言されました。日ア友好の象徴として後世に残るこの文庫には、当協会のメンバー各位の熱い想いが投影されているものと確信いたします。

新千年紀はグローバル化、国際化が一段と進む時代といわれています。国際交流の重要さが従来より高まるものと思います。一方、技術革新によるIT（情報通信）時代の進展があります。

こうした時代に当協会の活発な活動を通じて、国境を越え文化を通じ、人と人の交わりをさらに深めるという使命は、ますます重要になってくるものと考えます。

創立 70周年と新千年紀を迎えるにあたり、会員各位の協会活動へのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、みなさまの益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

謹 賀 新 年

2000年正月

社団法人 日本アルゼンチン協会
役員一同

河野洋平外務大臣

新年に際し、日頃我が国とアルゼンチンの間の交流促進に尽力されている日本アルゼンチン協会の皆様に御挨拶申し上げます。

私は昨年10月に外務大臣に再度就任致しました。丁度その月にアルゼンチンでは大統領選挙が実施され、12月10日にはデ・ラ・ルア新大統領が就任しました。

私も日本アルゼンチン友好議員連盟のメンバーの一人として特に日ア関係には関心を有しております。過去2度に亘りアルゼンチンを訪問しており、デ・ラ・ルア新大統領とは面識もあり、個人的にも大変親しみを感じている國であります。

政府としては、今後の新たな100年に向けて、両国間の様々な分野における交流と相互理解の一層の進展に向けて、更なる努力を行なっていく所存であります。日本アルゼンチン協会の皆様におかれても、今後とも様々な形で両国関係の増進にご協力頂きたいと考えております。

最後に、創立70周年を迎える日本アルゼンチン協会の皆様の一層の御発展と日ア友好協力関係の益々の発展を心からお祈りして、私の年頭の御挨拶とさせて頂きます。

アルフレド・V・キヤラディア駐日アルゼンチン大使

日本アルゼンチン協会の法人会員、及び個人会員の皆様、昨年一年間の精力的な仕事に対して心より御礼申し上げると共に、新年のご挨拶を申し上げます。

新しいミレニアムの幕開けである2000年5月に、日本アルゼンチン協会は創立70周年を迎えます。この喜ばしい行事に、両国の関係がますます深まるよう日本・アルゼンチンの両国民は注目しておりますし、両国政府も支援しております。

12月に就任致しましたフェルナンド・デ・ラ・ルア大統領は、亜日友好議員団の会長を務めた経験をもつ日本の古くからの友人です。新政府は日亜関係の強化を優先課題のひとつに挙げております。

様々な新しい技術の発達によって両国間の貿易・協力・文化交流は拡大し、国民同士の交流も深まりましたが、2000年には有益な形で実を結ぶことでしょう。私は、この一年間の経験を通じて、協会、及び会員諸氏が熱心な推進者としてこれらひとつひとつのプロジェクトに携わって下さったことを実感いたしました。

私達と協会の皆様との良き友情に乾杯！ 日亜友好促進のために働いている全ての皆様に、2000年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



新政権誕生後の政局展望

菊地寛士 エキパルコン（株）

1 1999年10月24日の大統領、下院議員、州知事、市長一斉選挙の結果を一言で評価するすれば、最大の勝利者は、限られた選択肢の中からベストと思われる解決を見つけようと努力したアルゼンチン国民であると言えよう。その後に2番手、3番手の勝利者として大統領に当選したデ・ラ・ルア（ALIANZA）、2百万票を集め代議士12名の第三勢力の地位を確立したカバロ（ApR）、ブエノスアイレス州知事に当選したルカウフ（PJ）etc.と続くが、勝利者がこれだけ多いと言う事はとりもなおさず絶対的な勝利者が出てなかつたと言う事になる。1980年代までは、ペロニスタ、ラジカルそれとも自党の候補者リストに盲従的に投票するのが選挙の通例であり、僅差でも勝利した党とその候補者に権力が一極集中する現象を招いていたが、今回の選挙では国民一人ひとりが党よりも人を選ぼうとしていじらしい迄の努力をした事が選挙結果に明確に表れており、アルゼンチン国民の政治的成熟度をはっきりと証明したと言えよう。

然しその結果、新大統領デ・ラ・ルアにあっては、少なくとも次の国會議員選挙のある2001年までは野党の協力無し



アルゼンチン

社長、在亜日本商工会議所監査役

にはどんな法案も国会通過が出来ないと言う厳しい舵取りを余儀なくさせられる事になる。与野党間のGIVE & TAKE 取引が2000年のア国政治の基調となろう。別の観点からこの現象を見れば、政治権力の多極分散の結果としての与野党協調・共棲が義務づけられると言う極めて民主的な方向にアルゼンチンの政局は移動し始めているとも言えよう。民主主義の定着が政治システム安定の大前提であり、政治体制の安定なしにいかなる長期的経済安定政策も絵に描いた餅にしかならないことを考えると、アルゼンチン経済の短・中・長期的展望は他の中南米近隣諸国との比較にならないほど見晴らしが良くなっていると言ふことが出来よう。

本稿を書いている11月24日公表された新内閣の顔ぶれは、大方の予想を裏切る実務本位、能力本位の内閣でアリアンサ与党内の派閥均衡等をほとんど無視した人物本位・政策本位の選考基準に基づいていることが明白に打ち出される中身になっており、メネム政権の経済基本政策を継続踏襲しながら財政収支の均衡を図り、同時に経済的弱者に優しい政策をとると言う公約を果たさんとする姿勢がうかがわれ、

左翼の一部を除き、国民一般多数より好感と期待を持って歓迎される人事となっている。副大統領に選出されたフレパソ出身のチャチョ・アルバレスも責任ある地位について自覚からか人間的に大きく成長したことをうかがわせる発言を繰り返してデ・ラ・ルア人事を支援しており、アルゼンチンの民主化度がここまで成長しつつあるのかと感心させられる。

今回の内閣の顔ぶれの中に今は大統領候補や経済相候補に推されても当然視される現在のアルゼンチン社会での第一級の人物が大半を占めており、中でも特筆されるのは、経済相にアルフォンシン政権で中銀総裁を務め与党内での支持の厚いエコノミスト、マチネアを登用しながら、カバロ前経済相の副大臣としてドル本位制を柱とする経済再建政策立案実行にあたったりアッチを文相に、外相には一時経済相に擬せられていた党内リベラル派のエコノミスト、ロドリゲス・ジャバリニを起用し、国防相にはカバロ以上に市場経済主義者と見られており欧米諸国の経済・財政エスタブリッシュメントに強い信頼感をもたれているロペス・マルフィを任命し、それぞれ経済相の相談役兼お目付け役兼予備軍として配置するなどの意表を突く人事を断行したことであろう。その結果、今後の外交政策・経済政策は、基本的には現在のドル本位制を中心とする経済安定政策やマルコスールを重視する近隣外交政策には変化無く、またメネム政権によって開始された

親米・親ヨーロッパ共同市場政策も基本的には継続させるというデ・ラ・ルアの決意が感じられる。また、リアッチの入閣はカバロに対するサインでもあり、今後カバロが事実上デ・ラ・ルアの経済問題に関する特使として欧米経済・財政界向けにアルゼンチンのイメージアップに奔走する下地をも確実にしたとの観測も出来、デ・ラ・ルアの柔軟性と、良いと信じたことは党内の雑音には拘泥せずに実行すると言う今まで隠されていた強い資質とともに見せたとも言え、この国の将来の予測にとりもう一つの明るい材料である。

ただ、グローバル化する世界経済市場に対抗して政治の優位性を強調するインターナショナル・ソシалиスタ（国際社民主義連合）の副会長に推薦されたアルフォンシンを派閥の大将とするアルフォンシン派や、彼ら以上に左翼的であるFREPASO グループ等の突き上げも十分予想されるので、アリアンサの中では保守派・リベラル派と見られ、それがゆえにこそ個人的魅力で浮動票を集めて大統領に当選できたと言えるデ・ラ・ルアが、内外に抱えるいろいろな雑音を最大公約数の求める方向に纏め上げた上で、国の政策に仕上げていくのは大変な作業であることには変わりは無い。今回の内閣人事で君子は豹変することを見せつけてくれたデ・ラ・ルアがこれからも意外性を発揮してアルゼンチン丸の舵取りに力量をみせてくれることを国民ともども期待をこめて見守りたい。

ブエノスアイレス日亞学院に 「秋篠宮文庫」誕生 アルゼンチン政府も政令指定



政令を宣言する G. ワルケル長官

「ユメ、ときには開花しないまま消えてゆく夢もある（民謡：サンバ・デ・ミ・エスペランサ）」アルゼンチンでは最もよく知られている歌詞のひとつ。しかし、このたびのユメ、それも「見果てぬ夢」と思っていた夢は現実のものとなり、ブエノスアイレスで開花した。

11月30日秋篠宮文仁殿下の誕生日、あさ9時日本とアルゼンチンの両国旗がブエノスアイレス日亞学院の児童により入場、両国国歌が鳴り響いた。

秋篠宮文庫の創設式に参加した来賓はペアトリス・デ・グティエレス・ワルケル文化庁長官、M・ジャノニ・ブエノスアイレス市教育長、日本国大使館渡部公使、坂田マリオ亞日修交100周年記念事業元委員長、一色田日系連会長、豊田在ア日商会頭、日本語学校関係者、シニア日本語指導教師、日亞学院顧問団、生徒、児

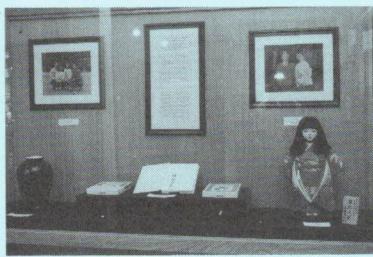
の役割を果たすことを期待します」と渡部公使により両国語で代読された。

学院児童による鼓笛バンドが日本の童謡「ゆりかごの歌」を演奏するなか、秋篠宮文庫の銘板の除幕があり、寄贈品として長田小学校から中古図書2,887冊と鯉のぼり、当協会の秋篠宮文庫委員会友国委員長（協会副会長、商船三井相談役）から五月人形兜一式の目録贈呈があった。

関係者によるテープ・カットのあと新装なった秋篠宮文庫が披露された。

宮家からの贈り物—天皇・皇后両陛下の写真、秋篠宮ご夫妻の毛筆署名入りのご家族の写真、秋篠宮家の紋章入り花瓶、殿下の著作「歐州家禽図鑑」署名入り、ご夫妻の論文誌3冊、天皇・皇后さまの歌集、美智子皇后ご自身の作品である童話絵本「はじめてのやまのぼり」と童謡の英訳絵本2冊が展示された。別室では日ア修交100周年記念事業組織委員会からの寄贈品、ビデオセット8台が披露された。アルゼンチン政府の政令指定（決議第4302号）にともない今後、政府刊行の文学、歴史、音楽、スポーツなどの書物は永久にこの文庫に贈られることになった。

祝賀レセプションの席上に日本海海戦に観戦武官として「日進」に座乗したドメック・ガルシア大佐（当時、のち海軍大臣）の孫、フォーン・ドメック公証役人が、家宝として秘蔵している菊のご紋章入り銀製花瓶と金蒔絵の豪華な文箱を持参し、初めて一般に



宮家からの贈りもの

公開された。これは海戦中、殿艦であった日進の砲塔が砲撃をうけ傷ついた砲手に代わって、中立であるはずのドメック大佐(ア海軍の砲術長)が砲撃し続けたことにたいし、明治天皇が個人的に贈られたもの。それは明治天皇から秋篠宮さまにいたるまで、皇室とアルゼンチンのつながりが、明治から平成まで一世紀ちかく連綿として続いている友好の証(あかし)として多くの関係者に深い感銘を与えていた。

あの実現不能と思われていた宮様の名前を冠した文庫は現実のものとなり、アルゼンチン政府の政令と共に、ブエノスアイレスに誕生した。

レセプションのあと式典参列者は、さらにオーディオ・ルームにうつり美智子皇后陛下の「子供のための読書」のVTRを鑑賞した。皇后さまのスピーチに初めて接した日系人は涙をうかべて聞き入っていた。スペイン語訳とともに鑑賞していたS・カステロ学院小学校校長はこう語っていた。「あなたがたは素晴らしいエンペラトリス(皇后陛下)をもっていますね。スピーチの内容も優れていますが、そのうえ詩的なのに感心しました。」

(専務理事野村秀治)

童謡集「揺籃のうた」の記念品

“En el aprendizaje del idioma japonés, entonar canciones tradicionales sirve para adquirir una buena pronunciación y entonación.

Además, las canciones de cuna transmiten el sentir del pueblo japonés.”

Con este pequeño texto quisimos sintetizar el mensaje de la Princesa Akishino y obsequiarles este cancionero como recuerdo de la inauguración de la BIBLIOTECA PRÍNCIPE AKISHINO.

Nichia Gakuin

30 de Noviembre de 1999

“日本語の学習には、日本の古くからある歌を唄うことにより発音またイントネーションが良くなります。そしてなによりも日本の子守歌は日本人の心を伝えるものです。”

紀子妃殿下から伺ったお話の要約を添え、“秋篠宮文庫”の創設式の記念品としてこの『揺籃のうた』を贈呈致します。

日亜学院バイリンガルスクール

1999年11月30日

スペイン語で書かれたこのカードは、当日出席者全員に記念品として配布された絵本(日本の童謡集「揺籃のうた」日・英・西・中4ヶ国語訳)に挿入されたもの。この本200冊はイデア・インスティテュート社の寄贈、商船三井のブエノスアイレスまでの輸送協力により実現したものです。関係各位社の多大なるご協力に深謝いたします。

アルゼンチン訪問の思い出

小口 真奈

茨城県猿島郡境町立長田小学校5年生

11月28日から12月5日までの8日間、私は、秋篠宮文庫創設式に出席するため、アルゼンチンに行ってきました。

式典は、日亜学院にて文化庁長官をはじめ大勢の出席者のもと、学院の生徒さんの歌、乾杯と盛大に行なわれました。私は、全て初めての事ばかりで緊張してしまいましたが、大変立派な式典でとても良い経験になりました。又、その後の5年生との交流会では、昼食と一緒に食べたり、話ができ、日亜学院が少し分かった気がしました。

その他とても感動したのが、歌にもなっている「カミニート」を見学できたこととブラジルとの国境にあるイグアスの滝を観光できました。この滝は、言葉に表わせないほどで一生心に残ることでしょう。でも一つ残念なことは、学院の皆とあまり話ができなかったことです。でも、今後、文通などで交流を深めたいと思います。

最後に、日亜学院の真木理事長さんをはじめ、このような機会を与えてくれた皆さんに感謝します。本当にありがとうございました。

新内閣の顔触れ キィポストは殆ど急進党に

1999年12月10日から発足した与党連合新政府フェルナンド・デ・ラ・ルア内閣の顔触れ及び各大臣の政策は次のとおり。



▶ 大統領：フェルナンド・デ・ラ・ルア（ラジカル党）

▶ 副大統領：カルロス・アルベルト・アルバレス（フレパソ党）

▶ 首相：ロドルフォ・テラニョ（ラジカル党）

各省各庁政府機関の監督、官僚主義プロクラティズムの増大防止。

▶ 内相：フェデリコ・ストラーニ（ラジカル党）

治安問題を優先。その方法として連邦警察と各州警察の効果的な協力態勢の確立を図ることによって事実上の国家警察を作り上げる。

▶ 外相：アダルベルト・ロドリゲス・ジャバリーニ（ラジカル党）

米国との関係維持。但しメネム政権時代に見られる米国一辺倒はとらない。

▶ 経済相：ホセ・ルイス・マチネア（ラジカル党）

国（州）庫会計赤字の減少。国家予算赤字を2000年は45億ペソまでにする。180億ペソに達する州債務の問題を解決するためケースバイケースで各州政府と話し合う。

▶ 文相：ファン・ホセ・リヤッチ

（ペロニスタ同調者）

教育の機会均等の保証、教授法の向上、教職の等級制、教職員に対する物質的刺激等々、急務として教職員増給問題の解決。

▶ 司法人権相：リカルド・ヒル・ラベドラ（ラジカル党）

「司法権の行政権からの独立」である。メネム政権の下では司法権は屡々行政権の干渉下に置かれ、民主主義の原則である行政・立法・司法の三権分立は必ずしも守られていなかった。

▶ 国防相：リカルド・ロペス・ムルフィ（ラジカル党）

職業軍人制の徹底化。今迄以上の国防費の削減は行わない。ムルフィ国防相は特に新しい方針を打ち出していないが、経済人である彼の国防相任命は全く予想しなかった突然の措置であった。

▶ 労働・雇用・人材育成相：アルベルト・フラマリケ（フレパソ）

早速CGT（労働総同盟）との会見を申し込んだように「労組との対話」を開始。

▶ 社会開発・環境相：グラシェラ・フェルナンデス・メイヒデ（フレパソ）

①雇用のための労働者能力の向上②食べることの権利の保証③学ぶこともしなければ働くこともしない若者たちの社会参加④飲料水と日常生活の必要を満たす最低限度の住居の保証。

▶ 公共事業相：ニコラス・ガジョ（ラジカル党）

①国立住宅基金の資金による向こう六年間に五十万のエコノミック住宅の建設②中央道路局による道路建設設計画の統一③市内空港（ホルヘ・ニューベリ）の移転問題はブエノスアイレス市民投票によって決定する。同相個人としては移転に反対。

▶ 厚生相：エクトル・ロンバルド（ラジカル党）

年金受給者医療保健制度の危機解決を優先する。そのため国民保健分野における汚職との闘い強化。連邦保健審議会を招集し中央と州（地方）との共通保健政策の確立。

▶ 大統領府長官：ホルヘ・デ・ラ・ルア（大統領の実弟）

註：ラジカル党（急進党）
フレパソ党（祖国連帯戦線党）
(らぶらた報知紙より)

政治・経済動向速報

小林晋一郎 東銀リサーチ・インターナショナル研究理事

スペインのガルソン予審判事はアルゼンチンの軍政時代(76-83年)の虐殺、拷問などの人権問題で新たに軍人29人を訴追した。この中にはブッシュ元ツクマン州知事が含まれている。

10月24日の大統領選挙で野党連合のデ・ラ・ルア候補は48.5%の得票で第2位のペロン党デュアルデ候補の得票38.0%を大きく上回り決選投票なしで選挙結果が確定した。憲法の規定で45%以上の得票、あるいはそれ以下の場合は第2位との差が10%以上ない時は上位2者で決選投票することとなる。

デ・ラ・ルアは選挙結果確定後、市場重視、財政均衡へと取り組みを表明、優先課題として、2000年度予算の見直し、税制改正、省庁の再編成(8省を10省に増やす)、民営化公共事業に係わる規制の見直し、中小企業救済の実施、を挙げた。

デ・ラ・ルアは選挙後、ブラジルとフランスを訪問、ブラジルではカルドソ大統領と会見、メルコスル強化、共同防衛、マクロ経済政策の強調で

合意した。フランスでは国際社会主義者会議に参加、ブレア英首相、シラク仏首相らと会談した。

デ・ラ・ルアは次期ブエノスアイレス州知事のルッカウ(ペロン党)と会談、アルゼンチンで深刻化している治安問題でその改善に協力することで合意した。

電話料金の引下げが新政権と電話会社との間で合意された。2000年3月の実施で、政府及び民間企業の支払う基本料金部分は19.5%、家庭の市内通話は5.5%値下げされる。

脱税防止を目的として大口取引(金額未定ながら7,000ペソあるいは10,000ペソを超える取引)の支払いを小切手などに限定、現金での支払いを禁止することを政府内部で検討中。

月給1,000ドル以下の公務員と月額450ドル以下の年金生活者には賞与を年内に支給、この額を超える場合は2000年1月以降に支給することが決められた。

無理な業務拡大で経営破綻

し、再建中のコメルシアル・デル・プラタ社は11月17日、債権者との協議で2億3100万ドルの債務を同社株式かエネルギー子会社コンパニア・ヘネラル・デ・コンプステイプレ社株式に交換することを提案した。

急進党(UCR)党首のポストをデ・ラ・ルアが大統領に就任するため元大統領のアルフォンシンに譲ることになった。

12月9日、モンテビデオでメルコスルサミットが開催されマクロ経済政策での強調が確認された。懸案のブラジル・アルゼンチン自動車協定は合意が成立しなかった。

多くの州で財政が悪化し問題視されている中、コリエンテス州は給与遅配、業者への支払い遅延が常態化している。介入官によれば人員過剰(適正人員40,000人に対し55,000人)で30%の給与削減が必要と指摘している。

ブラジルレアルの切下げ、ブラジル政府の投資インセンティブ供与などからアルゼンチンの自動車部品、農業機械

本文（英文）は当協会へ

など製造業のブラジル進出が目立つ。中にはアルゼンチンでの操業を停止し全面的にブラジルへ移転する企業も出ていている。アルゼンチン工業連盟は失業問題を一層深刻にするとして政府に警告を発した。ペレス・コンパングループは増税法案が可決したら石油化学部門の工場をブラジルへシフトすると公言した。

12月20日、下院予算委員会は2000年予算案を修正なしで承認。同予算案は歳出を14億ドル削減し財政赤字をIMFとの合意目標の45億ドルとしている。増税を含む税制改革案と州交付金改革が同時に審議中である。

11月の鉱工業生産指数は前年同月比で2.0%増加、前月比で1.5%増加となった。前年同月比で増加したのは14カ月振りで経済回復の底堅さが窺える。1-11月の累計では前年同期比8.2%の減少である。

政府は2000年の必要外貨調達額を175億ドル、調達計画は国際機関からの融資15億ドル、民営化収入7億ドル、ポンド交換10億ドル、市場調達143億ドルと発表した。メネム政権時代に前倒しで資金調達を進め、ポンド交換による期限の延長・金利削減を図ってきた。

■ BULLETIN NO. 14 — NOVEMBER 1999

2003年までに財政赤字を解消	1
議会は、財政支出の制限と赤字解消スケジュールおよび支出内容の透明性を課した。	
農産物輸出国、WTOに保護撤廃を要求	6
11月のWTO会議を前に8月末ブエノスで開催された農産物輸出国15国会議が、農産物の輸出と生産への補助の廃止を求める宣言を採択して閉幕。	
1992年以後の酪農産業の大躍進	8
乳業製品の生産規模の拡大と高付加価値化により国内輸出共に発展目覚しい。	
情報テクノロジー市場	13
家庭のパソコン保有率21.8%。うち21%はインターネット接続。政府は電話会社に接続料値下げ要請。米国から高速ネットワークシステム導入を決定。	
90年代の経済発展と今後の見通し	16
91年3月の兌換法は経済史の分岐点、兌換法はインフレ収束、名目金利の低下、外国資本の流入、8年間年平均5.8%の経済成長や一連の構造改革を可能とした。	

新大統領は、地球最南端で年明け

アルゼンチン（地球上）最南端の町、ウスワイアの年明けは、全世界から集まった数千人の観光客の前で、フリオ・ボカが5分前からネオ・タンゴを踊り、カウントダウンのあと、20分間にわたり花火が打ち上げられた。デ・ラ・ルア新大統領も家族と共に参加し、新しいミレニアムを祝った。いつもは明るい真夜中だが、ちょうど雲がでて、地球最南端の花火は光彩を放った。

英国アンドリュー王子タンゴを踊る

12月10日デ・ラ・ルア新大統領の就任式にブエノスアイレスを訪れたアンドリュー王子は、フェルナンド・ソレイ（歌手）が経営するブエノスの南バラッカスにあるタンゴ・ディナー・ショウで評判の「セニョール・タンゴ」を訪れ、ステージでタンゴを踊り、やんやの喝采を浴びた。（宮下美和、当協会員）

インタビュー<この人>（2） アルゼンチン経済立て直しの立役者

ドミンゴ・カバロ

アルゼンチン下院議員・共和国行動党党首
(元経済・公共事業大臣)

インタービュアー：斎木 茂治 大来財団日本評議委員会事務局長・当協会理事

「やあ久しぶりですねカバロさん。選挙戦でお疲れのところを遥々ようこそ」

「貴方も相変わらず日亜関係拡大・緊密化の為に頑張っておられる様で何よりです」
(インタービュアーアルゼンチン在勤時代より知己) カバロ氏とのインタビューはこんな気楽な雑談調で去年12月7日帝国ホテルで行われた。

—10月24日の下院選での共和国行動党の大躍進おめでとうございます。

ところで、大統領選・下院半数改選、6州知事選結果の総評は如何ですか。

「どうも有難う。選挙は民主主義の下、公正且つ円滑に実施され国民も満足しています。続いて11月25日に発表されたデ・ラ・ルア政権組閣人事も実務派を揃えた強力かつ妥当な人事として内外からの評価を得ています。」

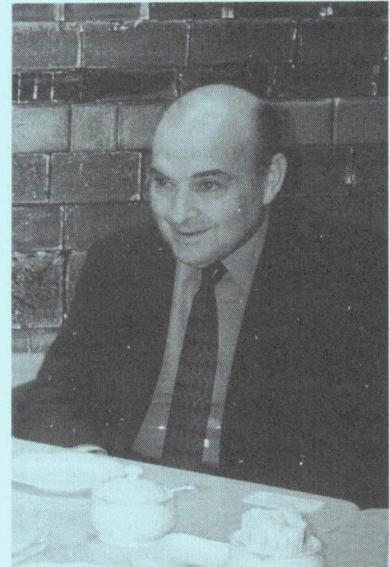
—新政権の政策についてお話し願えますか。

「経済政策は現メネム政権の

基本路線に大きな変更は無く特に「兌換法」を維持することは明白です。先ずは財政健全化を目指した2000年度予算を上院・下院で審議・成立させることが最重要事項でありわが党もこれが成立に向け協力する積もりです。その上で長期的には、財政健全化の為、中央・州政府が一丸となって行政改革や税制改革等を実行して行くことが必要でしょう。わが党としては、中流階級の所得減と亜国産品の競争力低下につながる増税は出来るだけ避け、政府経費の削減に努めるべきと考えます。」

—ブラジル通貨危機に端を発した亜伯間の貿易問題等に係る協議の進展は如何ですか。

「両国間で<メルコスール体制を維持する>との基本合意に基づき、協議が継続されています。両国が極端な保護主義に走らず、アルゼンチンは生産コストを下げ競争力を高めることが必要である一方、ブラジルはレアルの対外的信



用を高める為のさらなる努力が必要です。ブラジルはアルゼンチンの兌換法（法律で通貨発行高を外貨準備範囲内に制限しペソとドルの交換を保証）を参考とすべきと思います。両国のマクロ経済政策の調整が重要であることは言うまでもありませんがこれには時間がかかります。幸い、その過程において両国民間部門間の貿易取引を通じての品目別協定等現実的な対応の効果があがってきています。」

—今回の選挙では与野党共に
「社会問題（失業、治安、汚

職等)の改善」を公約にしましたと聴いていますが。

「その通りです。これが改善の為には中央政府と州政府が一丸となりこれに当たる要がありますが、緊縮財政下でこれを達成するには行政改革による経費の効率化が必要となります。」

一来年のブエノスアイレス市特別区知事に立候補されると聴いております。

「その積もりです。先程のテーマの続きになりますが、既に特別区における社会問題や教育・衛生問題に係る具体策の立案・検討を行っています。」

一最後に、貿易・投資政策について如何ですか。

「新政権も現政権同様メルコスール、欧米並びに日本をはじめとするアジアとの貿易・投資拡大の方針は変わりません。対日政策では特に来年5月に解禁(OEAワクチン接種無しのアフトーサ・フリー認定)される亜国産牛肉の輸出拡大に期待しています。先行しているウルグアイが同国産の米や牛肉の対日輸出で苦労していると聴いています。亜国も官民一体となってプロモーションに努める要がありますが日本側にもよりフレキシブルな対応をお願いしたいと思います。」

<シリーズ>

アルゼンチン・ワインの通(つう)になろう②



トラピチェ社は、1883年創立でアルゼンチンを代表する名門ワイナリーである。

<パタゴニア>
トリヴェント サンジョベーゼ
マルベック
シャルドネ

◎ワイン銘柄と特徴

イスカイ(ISCAY)

昨年11月に日本で開催された「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」でベスト・アルゼンチン・ワインの栄誉にかがやいた高品質ワイン。

■販売小売店

渋谷東急
渋谷区道玄坂2-24-1
03-3477-3111

大丸東京
千代田区丸ノ内1-9-1
03-3212-8011

カーブ・ド・リラックス
港区西新橋1-6-11
03-3595-3697

コートドール
江東区青海1丁目
パレットタウン
ヴィナス・フォート2F
03-3599-2277

高島屋デパート
中央区日本橋2-4-1
03-3246-4318

<トラピチェ>

イスカイ

メダージャ カベルネ	メルロー	シャルドネ
オークカスク ピノノワール	シラー	カベルネ
	カベルネ	マルベック
	マルベック	シャルドネ
ヴァラエタル カベルネ	シラー	カベルネ
	カベルネ	マルベック
	マルベック	シャルドネ
フォーリングスター 赤	シャルドネ	
		白

ヴィニヤ・パタゴニア

(VIÑA PATAGONIA)

メンドサ州で「トリヴェント」と云うブランド名で生産されているワインである。

■輸入業者

メルシャン(株)ワイン部
中央区京橋1-5-8
03-3231-3913(湊)

◎ワイン銘柄と特徴
ルイジ ボスカ(LUIGI BOSCA)

- マルベック D.O.C.
厚みある味わい、ソフトな口当たりが特徴。
- カベルネ・ソーヴィニヨン
力強く、凝縮された長熟タイプの赤ワイン。
- シラー
凝縮された果実味が口いっぱいに広がる。
- メルロ
力強く、なめらかな口当たりの赤ワイン。
- ソーヴィニヨン・ブラン
穏やかでバランスのとれた辛口。
- シャルドネ
ドライで切れ味のよい辛口。
- マルベック特別瓶熟
なめらかな深みと、マルベック種特有の素朴な味わい。
- カベルネ・ソーヴィニヨン特別瓶熟
きめ細やかで、ソフトな口当たりと、深みある熟成香。

フインカ フリッチマン
(FINCA FLICHMAN)

- カベルネ・ソーヴィニヨン
豊かなタンニン分を備えた、果実味豊かなワイン。
- マルベック
心地よい果実味の、ソフトでなめらかな口当たり。
- シャルドネ
優しい口当たり、すっきりした後味のワイン。
- セレクション カベルネ・ソーヴィニヨン
優しくまろやかな口当たりの、果実味あふれるワイン。

シリーズ・アルゼンチンと私(2)

原昇 “素人文庫” (そじんぶんこ) 5,500 冊が国会図書館へ

福島 穆 元NEC首席駐在員、NECロジスティックス顧問

5年に及ぶ駐在を含め20年にわたり仕事でお世話になったアルゼンチンであってみれば、お伝えしたい交流、経験が沢山ある。それらの中で少しでも会員の方のご参考になればと願い「原昇“素人文庫”」誕生のいきさつにつ

- セレクション マルベック
素朴な土の風味、小樽熟成に由来する上品な味わい。
- セレクション シャルドネ
爽やかでクリーンな酸味と、みずみずしい果実の風味。
- カベルネ・ソーヴィニヨン
レセルヴァ
力強いタンニンのある、樽香とのバランスのとれた名酒。
- シャルドネ レセルヴァ
完熟葡萄に由来する、ふくらみのある口当たり。

■販売小売店
カーブドヴァン
港区元赤坂1-2-3
03-3470-1602

■輸入業者
サントリー株式会社
港区元赤坂1-2-3
03-3470-1168 (森本)

いて述べ、同文庫のご利用をご案内させていただきたい。会員の方の中には、かつてブエノスアイレスはAvenida Belgrano 1470にあった原商会を覚えている方もおられるかと思う。第2次大戦前は原・加藤合弁会社として、今の中日との貿易を中心に行い、戦後は織物工場を経営して重きをなした会社であった。原昇氏はこの会社の二代目当主で、日本で大学を卒業後、1928年、父親の経営するこの会社を継ぐために渡亜されました。もともと、大変な読書家であった同氏は日頃の読書の成果を論説にまとめ、地元の邦字紙にたびたび執筆したりしていました。

戦後、仕事も軌道に乗り始めた頃から、元来の読書欲を満たすべく徐々に書籍の収集を始めました。当時は、戦後の世界を制するのはアメリカ合衆国かアルゼンチン共和国かといわれた程で、アルゼンチンが隆盛を極め、世界の富が集まった頃でした。大戦で疲弊したヨーロッパから多くの富が売りに出され新大陸に渡ったのでした。ヨーロッパ

の蒐集家が稀覲本（きこうほん）を手放したことは想像に難くありません。原さんは週末ともなるとこれらの本を求めて専ら本屋回りを行いました。そのことのいかに熱心であったかは、例えば「ロッタ・シュタイン」という行きつけの本屋さんから電話が入ると食事中でも構わずに中座して出掛けたといいます。古くて傷みの激しい本が多くありましたから、購入した本の修理がこれまた大変な仕事で原夫人はついには製本装丁技術を本格的に学ばれ大型の製本機械を購入して修理を行いましたから、そのうち込みようは尋常一様ではありません。こうして約40年に及ぶ収集の結果は、ほぼ1万冊近くにも達する文庫の誕生となったのです。同氏はこの蔵書を収容して利用に利便を図るために、ご自宅の中に「素人文庫」と名づけた図書館の建設を始めたのですが、誠に残念なことにその完成を待たずには1987年に他界されてしまいました。さらに不幸なことには、この跡を継ぐべき筈の三代目のご当主原修氏が病を得て比較的若く病没なさった為、原商会そのものも、昇氏の他界に先駆け、1980年には閉鎖の止むなきに至っていたことです。

この話を聞いた本邦国立国会図書館は、まもなく同図書館の専門員に出張調査させ、その価値が認められて一切を国会図書館が引き受けることになったという次第であ

ります。こうして国立国会図書館内に「原昇“素人文庫”」が誕生することになりました。

蔵書の内容は洋書5,434冊、和書78冊、その他あります。ほかに和書3千冊ばかりがありますが、これはアルゼンチンでその一部がエスコバルの老人ホームで利用に供されております。スペイン語による中南米関係、特にアルゼンチン関係が多いのは当然ですが文学、歴史、地理、地誌、旅行記、植物、動物、タンゴ等々多岐にわたります。稀覲本としては、インキュナブラ（ヨーロッパの印刷術の始められた頃、1500年以前約一世紀の間に刊行された印刷本。広辞苑による）9巻が圧巻です。初期キリスト教の大思想家、アウグスチヌに関するものです。聖書に関するものも多数あります。

1998年の5月に久方ぶりに訪亜して、かつての原昇氏夫人の原恵子様との再会を喜びながらこの経緯を伺った私は、新渡戸稻造の「太平洋の橋」のことを思い出しながら、ここにも日本とアルゼンチンとの間に貴重な橋を架けられた原家に感謝した次第です。

この貴重な蔵書は国立国会図書館の本館4階の特別資料室に図書カードがあり調べることが出来、特別のものを除きどなたでもその場で閲覧可能です。カードは書名順ですので出来れば図書名で調べるのが便利です。この蔵書により相互理解を進めることは我々の務めでもあります。

アルゼンチンのチステ（小噺）

国際金融危機の渦中、クリントン大統領、エリツィン大統領、デ・ラ・ルア大統領が神様に呼ばれて、天国での会議に出席した。神様は「今や世界は混乱状況にあり打つすべがなくなった。よって、明日世界を滅亡することにした。」と述べた。そして、この知らせを聞いた三国の大統領達はそれぞれの国に帰り国民に向けて次の演説を行った。米国ではクリントン大統領が「我が国民に二つの報告がある。一つはいい知らせ、もう一つは悪い知らせである。いい知らせは神様は存在することである。（国民はみな抱き合い喜んだ）悪い知らせは明日、世界が破滅することである。（喜びは一転し不安顔となつた）。」。その頃ロシアではエリツィン大統領が「我が国民に二つの悪い知らせがある。一つは私より偉い、神が存在することである。もう一つは明日、世界が終わることである。（国民は皆悲しみにふけた）」そして同時にアルゼンチンでは就任間もないデ・ラ・ルア大統領が国民に向けて演説を行っていた。「我が国民よ！今日は二つのいい知らせがある。一つ目は何と私が神様に選ばれた大統領の人となったこと。二つ目は金融危機が明日、ようやく終わることであります！（国民はみなオベリスクで太鼓を叩いて喜んだ）」

（らぶらた報知紙より）

「実用スペイン語」冬季講座の開講

講座の種類及び期日：(定員は夫々のコース 18名、先着順)

初級（発音、会話などやさしく楽しい入門コース）

1月 14 日（金）より 3月 17 日（金）まで

毎週金曜日 9回 講師 マリサ マイステレナ先生

中級（実用会話、読書を楽しんでレベル・アップ）

1月 18 日（火）より 3月 14 日（火）まで

毎週火曜日 9回 講師 リナ B. フエララ先生

講習時間：18:30 より 20:30 まで（2時間）

受講料： (初級コース) (中級コース)

一般（非会員）	29,000円	30,000円
---------	---------	---------

会員	19,000円	20,000円
----	---------	---------

学生	15,000円	16,000円
----	---------	---------

会場：当協会3階教室（JR、銀座線新橋駅より徒歩3分、都営

三田線内幸町徒歩3分、日比谷線、千代田線 日比谷駅

徒歩6分、第一ホテル東京裏口の四つ角、「ルノアール喫茶室」の2軒北角）

受講希望の方は事務局へご照会下さい。

故近藤四郎 前副会長を偲ぶ会

42年の長きにわたって当協会のために尽力された故近藤四郎前副会長元駐アルゼンチン大使を偲ぶ会が、下記の通りとり行なわれることになりました。

会では、故人のご遺志にそいタンゴなどを上演し、盛大に在りし日の近藤大使をお偲びします。

多くの方のご参加をお願いいたします。

なお、ご出席の会員は、下記申し込みを3月15日（水）までにお申し込みください。

日時：3月 24 日（金）12:00 ~ 14:30

場所：グランドビル市ヶ谷

（新宿区市ヶ谷本村町 4-1 TEL: 03-3268-0111）

会費：5,000円（予定）当日受け付けで徴収させて頂きます

交通：有楽町線、南北線、都営新宿線、JR総武線市ヶ谷駅下車徒歩3分

FAX: 03-3595-3932

TEL: 03-3501-4684

日本アルゼンチン協会事務局ゆき

故近藤四郎大使を偲ぶ会 申し込み

お名前：

ご住所：

会社名：

TEL :

役職：

第4回ペヘレイ養殖場見学ツアー

11月 13 日（土）ルビオ・レイナ国大使館参事官夫妻と当協会員等60余人が埼玉県の安田ペヘレイ養殖場を訪れ、安田代表取締役（当協会監事）の説明を聞きながら、水槽の中で泳いでいる稚魚20万匹を見学した。引き続きエンターテイメント会場に移動し、昼食のペヘレイの握り寿司、同天ぷらとアサード、チヨリソなど、さらに赤ワイン バルモン（当協会員川重商事（株）ご寄贈）とナバロ・コレアス（当協会員カルピス（株）ご寄贈）等を飲み食い放題で満腹し、参加者一同ご満悦であった。食後、元アルゼンチン国立舞踊団のメンバーであった宮下美和子先生のフルクロール・ダンスの独演及び指導によりフルクロールやタンゴを踊り、最後に恒例の「花祭り」が演奏されると、一同輪になって踊り、楽しい一時を過ごし、安田代表取締役始め（株）安田社員皆様などの献身的なご接待に感謝しながら、JR熊谷駅へ向かった。



文化行事

【※】は当協会員特別割引

■ ブエノス・アイレス・

タンゴ：ダンス・

ショー&パーティー

日時：2月13日（日）

17:00～22:00

会場：浅草アサヒ・スクエアA
(墨田区吾妻橋1-23-1 F4)

演奏：ダンス：カミラ・ウ・
イジャミル&フリオ・ア
ルテス

入場料：5,000円ドリンク付

【※】4,500円ドリンク付】

交通：銀座線 浅草駅下車
徒歩4分

連絡先：0424-90-0626、

携帯 090-3534-1710

（ゲスタボ・マルチエシ、
当協会員）

■ ラケル・レベナス

絵画展

日時：2月17日（木）～

22日（火）12:00～19:00

（無休）

展示品：ホルヘ・ルイス・ボ
ルヘスに因んだ油絵、ド

ローイング作品約35点

会場：プロモ・アルテ
ラテンアメリカアート
ギャラリー

（TEL 03-3400-1995）

入場料：無料

主催：同上

（渋谷区神宮前5-51-4）

協力：アルゼンチン共和国大
使館

交通：銀座線、千代田線、
半蔵門線 表参道駅 B2 出
口より 徒歩3分

■ ルイス・ブラボの

“フォーエバー・タンゴ”
ダンス・ショー

日時：4月18日（火）

開演 19:00

19日（水）

開演 14:00 及び 19:00

20日（木）及び21日（金）

開演 19:00

22日（土）

開演 14:00 及び 18:00

23日（日）開演 13:00

会場：赤坂ACTシアター

出演：オーケストラ11名、ダ
ンサー7組14名、歌手1名

入場料：S席 10,000円

【※】9,000円】、

A席 8,000円（税込み、全
席指定）

交通：千代田線 赤坂駅下車

徒歩1分

主催：TBS

後援：アルゼンチン共和国大
使館

企画・制作：青山エンタープ
ライズ／ミュージック
リーグ

申込先：青山エンタープライズ
03-3404-9111（井本）

お知らせ

■ 「各国大使館員が日本語 でお国自慢シリーズ 『アルゼンチン編』」

日時：4月11日（火）、25日（火）、
5月9日（火）、23日（火）、
6月13日（火）
(19:00～20:30)

会場：毎日新聞カルチャーシ
ティ渋谷校
(渋谷パルコ・パートⅡ、
渋谷区宇田川町3-7)

講師：ルビオ・レイナ アル
ゼンチン大使館参事官

受講料：入会金5,000円、1回
分2,700円、5回分12,500
円

講座内容：歴史、自然・地理、
文化、政治・経済、日本と
アルゼンチンの交流史、
大使館訪問と料理試食

主催：(株) 每日新聞
カルチャーシティ
(03-3238-5280)

申込み：毎日新聞カルチャ
シティ渋谷校
(03-3477-8969)

■ アルゼンチンタンゴの 旅（ゴールデンウイー クを利用して如何）

4月22日（土）成田発
23日（月）ブエノスアイレ
ス着（観光、タンゴ生演奏）
25日（火）コルドバ着（觀
光、タンゴ生演奏）
27日（木）ブエノスアイ
レス着（タンゴ生演奏）

成田／ブエノス往復 15万円（税別）に

世界的に航空運賃が安くなっている。「ブエノスアイレスまでの航空運賃は、距離が長いだけにソウはいかない」と考えてはいけない。かつては往復25万円（エコノミー）程度であったが、いまや15万円（空港使用料、税別）に下がっている。

昨年11月末の旅行で支払ったのは、航空券15万円、成田空港使用料2,040円、現地空港税5,000円計157,040円。成田—(NW)—ニューヨーク—(AR)—ブエノスアイレスの旅。アルゼンチン航空(AR)にはブエノス／イグアス往復フリー・サービスまでついている。

現地ホテルも高くない。フロリダ通りとサンマルチン公園に近い4つ星ホテルが、一泊9,000円。バイキング朝食つきで、セキュリティー良く、出発日は午後6時のチェックアウトまでサービス、バスタブが深いのが嬉しい。

本場のタンゴやフルクローレが安く堪能できる時代になった。それよりも不死鳥のごとく蘇り、全く別の町並みになったブエノス市街を一目、ご覧いただきたい。(SN)

TV「ソロタンゴ」ルイス・ブラボ顕彰 バンドネオン・デ・オロ賞

TV「SOLO TANGO」では1999年から各専門活動分野を通じて社会に寄与貢献した人々に対し「バンドネオン金賞」という賞を設け、その功績を顕彰することにしているが、今回、国際的タンゴショウ「FOREVER TANGO」(p.14参照)の創設者ルイス・ブラボ氏を表彰することになった。授賞式は11月17日、市内の「EL MOROCCO TANGO」で行われた。

ちなみに今迄、「バンドネオン金賞」を受賞した者はノルマ・アレアンドロ（演劇女優）、スサーナ・リナルディ（タンゴ歌手）、フーリオ・ボッカ（舞踊家）エンリケ・カディカモ（作詞家）、アメリカ・バルタル及びレネ・ファボロソ（歌手）である。(らぶらた報知紙より)

■ホームページ開設 (2月1日より)

ガウチョおじさんのアルゼンチン情報ネットワーク
=東京・アルゼンチン村=
<http://www.pago.Argentina.com>
カンデラリア、ラ・パンパ
高野 太郎（当協会員）

国会上院文化委「タンゴの日」祝う 功労者11人が受賞

国会上院文化委員会「ソロタンゴ」は毎年12月11日「タンゴの日」を記念して音楽、舞踊、詩文の分野で功労のあった人物に対して「バンドネオン金賞」を授与しているが、今年は次の11人が表彰され、その授賞式が去る12月2日から国会上院「サロン・アスール」で行われた。受賞者は

(1)芸能界の大立者：ベン・モ

ラール、「タンゴの日」の創設者。
(2)国立タンゴ アカデミー院長：オラシオ・フェレール。
(3)ルンファルド ポルテニヤ
アカデミー院長：ホセ・ゴベージョ
(4)歌手：ネリ・オマル、カトゥロ・カステイージョ、アルヘンティーノ・レデスマ、アルベルト・ポデスタ。
(5)楽団指揮者：マリアーノ・

モーレス、ペーバ・ブグリエセ。
(6)舞踊家：カルメンシータ・カルデロン、ビーベ・パレルモ（ドスボルクワートロ舞踊団メンバー）。

なお、授賞式の夜、オルケスタ「コロールタンゴ」演奏の下、ルイス・カルディが歌い二組のカップルがタンゴを踊り「タンゴの日」の記念行事を盛り上げた。

(らぶらた報知紙より)

わが国でもタンゴ番組の衛星放送

今月からわが国でも、現地の人気番組「ソロ・タンゴ」が聞けるようになった。

音楽専門チャンネル「ミュージック・エア・ネットワーク」は、手始めに毎週一時間枠で本場の「ソロ・タンゴ」の放送を開始した。

「ソロ・タンゴ」は95年にブエノスアイレスに開局し、北米、南米、欧州で放送されているラテン・アメリカで唯一のタンゴ専門チャンネル。現在加入者は500万世帯を超え、多くの賞を受賞するなど人気が高い。

CATV、スカイパーフェクTV(271CH)、ディレクTV(340CH)で、毎週日曜12:30～13:30、再放送は木曜日24:00、日曜日01:00で鑑賞できる。

人事往来 (平成11年10月～12月)

来日

一色田 眇 在亞日系団体連合会会長 11月7日～13日

(天皇陛下即位10周年記念式典出席)

ドミンゴ・フェリペ・カバロ下院議員（元経済大臣）

12月5日～7日

(国際通貨研究所主催の金融関係シンポジウム出席)

訪ア

野本 真友（小2年）茨城県境町立長田小学校

11月30日～12月3日

同 父親 (秋篠宮文庫開設式典出席)

小口 真奈（小5年）同 小学校（同上）

同 父親

野村 秀治 当協会専務理事 11月30日～12月8日

(秋篠宮文庫開設式典出席)

谷川和穂特派大使（衆議院議員）12月7日～11日

(大統領就任式典出席)

訃報

近藤四郎前副会長（元駐アルゼンチン大使）は1月3日（月）心臓疾患のため逝去（享年85才）されました。告別式は、6日（木）ご自宅において近親者のみにて執り行われました。心からご冥福をお祈りします。

なお、「偲ぶ会」は、3月24日（金）（12:00～14:30）にグランドヒル市ヶ谷（p.13参照）において開催されます。

会員を募集中です

特典：

☆ 年4回、最新のニュースや話題を盛り込んだレベルの高い会報を無料配布

☆ タンゴやフォルクローレ演奏会等の催物の会員割引

☆ 会員アーティスト主催の文化行事の割引ご案内

☆ 当協会主催の催物ご参加（実費徴収）、スペイン語講座（授業料会員割引）など

☆ 協会年会費：

法人会員一口30,000円

(口数は無制限)

個人正会員10,000円

(定款上総会の構成員、議決権有り)

賛助会員5,000円

(議決権なし)

☆ 郵便振込口座：

00120-6-581381

☆ 住友銀行日比谷支店口座：
普通 215-99570

☆ 連絡先：事務局

TEL03-3501-4684

あとがき

次号（28号）は4月中旬発行予定です。会員各位の投稿、ご意見をお待ちしています。